

火曜日 內閣官報局

地方學事通則中改正法律案 第一讀會ノ續 四〇七

○子爵堤功長君 讀會省略ニ賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵林友幸君 賛成

○子爵河端實文君 賛成

○子爵一柳末徳君 賛成

○澤簡徳君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○男爵玉松眞幸君 賛成

○子爵伏原宣足君 賛成

○子爵井伊直安君 賛成

○男爵榎村正直君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 讀會省略ノ要求ハ賛成ガ十人以上ゴザイマス、成立チマシタ、別ニ御發言ガ無ケレバ直ニ表決ニ付シマス、三讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ノ多數ト認メマス、依ッテ讀會省略ニ爲リマシタ

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

地方學事通則中改正法律案

明治二十三年法律第八十九號地方學事通則中左ノ通改正ス

第九條第三項中「廢設並支消賣却交換讓渡質入書入」トアルヲ「設置及處分」ト改ム

第十條第三項中「府縣郡」ノ下ニ「市町村」ヲ加フ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ酒造稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

酒造稅法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年三月十一日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

衆議院議長楠本正隆

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

酒造稅法

第一條 此ノ稅法ニ於テ酒類ト稱スルハ清酒濁酒白酒味淋燒酎酒精ノ六種トス

第二條 酒類ヲ製造セムトスル者ハ製造場一箇所毎ニ政府ノ免許ヲ受クヘシ其ノ製造ヲ廢止セムトスルキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

第三條 其ノ年十月一日ヨリ翌年九月三十日マテヲ以テ一酒造年度トス

第四條 酒類ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數ニ應シ左ノ割合ニ從ヒ造石稅ヲ課ス

第一種 清酒、白酒 一石 金七圓

第二種 味淋、酒 一石 金六圓

第三種 燒酎 一石 金八圓

但シ當分ノ内北海道ニ於テハ渡島國一圓後志國ノ内八郡 磯谷郡歌來郡

釧路郡久遠郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡

奧尻郡島收郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡 釧路郡

第五條 新ニ酒製造ノ免許ヲ受クル者ハ造石高百石以上ニ非サレハ許可セス

第六條 造石稅ノ納期ヲ分テ左ノ四期トス

第一期 七月一日ヨリ同十五日限

第二期 九月一日ヨリ同十五日限

第三期 翌年一月一日ヨリ同十五日限

第四期 翌年三月一日ヨリ同十五日限

前納額ノ殘數

第七條 政府ハ酒類ヲ製造スル者脫稅又ハ連稅ヲ課ルノ所爲アリト認ムル

トキハ前條ノ納期ニ拘ラス造石稅ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 酒類ノ造石數ハ製成ノ時之ヲ査定ス

酒類ノ造石數ヲ査定スルハ容器ノ容量ニ依ル但シ清酒ニ限り命令ノ定ム

ル所ニ依リ査定石數百分二以內ノ滓引減量ヲ控除スルコトヲ得

犯則其ノ他ノ事故ニ依リ前各項ニ依リ難キ場合ニ於テハ現在ノ酒類又ハ

證據物件ニ就キ之ヲ査定ス

第九條 粕澆シタル酒類ハ粕澆ニ依リ増加シタル分ノミニ就キ其ノ造石數

ヲ査定ス

第十條 酒類ヲ製造スル者ノ製造ニ係ル醗ハ左ノ場合ニ於テハ濁酒ヲ製成

シタルモノトシテ其ノ造石數ヲ査定ス

一 他人ニ讓渡ストキ

二 公賣セラルトキ

三 飲料ニ供シ又ハ酒類製造用ノ外ニ供スルトキ

第十一條 酒類ヲ製造スル者既ニ査定ヲ受ケタル酒類ノ造石數ニ對シテハ

特ニ法律ヲ以テ定ムル場合ノ外其ノ造石稅ヲ免ルコトヲ得ス

第十二條 左ノ酒類ニ係ル未納ノ造石稅ハ之ヲ免除スルコトヲ得但シ製造場外ニ移出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 災害ニ罹リ酒類ノ廢棄ニ屬シタルモノ

二 酒類ノ腐敗シテ廢棄ニ屬シタルモノ

三 腐敗シタル酒類ニシテ蒸溜酒ノ製造ニ供スルモノ

四 容器ノ損傷ニ依リ酒類ノ亡失シタルモノ

第十三條 酒類ヲ製造スル者ハ納稅保證トシテ造石稅半額ニ相當スル保證物ヲ供スヘシ保證物ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 左ノ場合ニ於テハ保證物ヲ免除ス

一 相當ノ納稅保證人ヲ供シタルトキ

二 納稅保證トシテ造石稅額ニ相當スル酒類ヲ保存スルトキ

三 造石稅ヲ前納シタルトキ

第十五條 酒類ヲ製造スル者稅金ヲ納メサルトキハ政府ハ納稅保證ニ供シタル保證物及保存ノ義務ヲ有スル酒類ヲ公賣シテ造石稅金ヲ徵收スヘシ但シ仍舊納アルトキ滯納處分ノ執行ヲ妨ケス

第十六條 納稅保證人ハ酒類ヲ製造スル者造石稅ヲ完納スル能ハサルトキハ納稅者トシテ其ノ義務ヲ負擔スルモノトス

第十七條 酒類ヲ製造スル者納稅保證トシテ保存ノ義務ヲ有スル酒類ハ之ヲ他人ニ讓渡シ、質入シ、消費シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第十八條 酒類ヲ製造スル者ハ造石稅數査定前ニ於テ其ノ酒類ヲ他人ニ讓渡シ、質入シ、消費シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第十九條 收稅官吏ハ命令ノ規程ニ依リ酒類ノ製造出入ニ關スル一切ノ帳簿書類及酒類製造上必要ナル建築物、材料、器械其ノ他ノ物件ヲ検査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十條 酒類ヲ製造セサル者酒母又ハ醪ヲ製造セムトスルトキハ政府ノ免許ヲ受ケ酒類ヲ製造スル者ト等シク其ノ検査監督ヲ受ケヘシ

第二十一條 酒類ヲ製造セサル者其ノ製造ニ係ル醪ヲ飲料ニ供シ又ハ飲料トシテ讓渡シタルトキハ濁酒ヲ製造スル者トシ其ノ製造ニ係ル總石稅數ノ造石稅ヲ課ス

第二十二條 免許ヲ受ケシテ酒類、酒類製造用ノ爲酒母若ハ醪ヲ製造シ又ハ他人ヨリ讓受ケタル酒母若ハ醪ヲ以テ酒類ヲ製造シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

免許ヲ受ケシテ醪、濁酒、白酒、燒酎、製造用ノ爲酒母一斗以下ヲ製造シ又ハ他人ヨリ讓受ケタル酒母ヲ以テ醪、濁酒、白酒、燒酎ノ一種又ハ數種ヲ通シテ三石以下ヲ製造シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ本項前段ノ場合ニ於テ酒母ノ量數不明ナルモ其ノ製造シタル醪若ハ酒類ノ量數一種若ハ數種ヲ通シテ三石以下ナルトキハ仍本項ニ依ル

第二十三條 酒類ヲ製造セサル者免許ヲ受ケシテ酒母又ハ醪ヲ製造シタルトキハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條 酒類ヲ製造スル者詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石稅數ノ査定ヲ免カレ又ハ免カレムトシタルトキハ其ノ石稅數ノ造石稅三倍ニ相當スル

罰金若ハ科料ニ處ス

第二十五條 酒類ヲ製造スル者故意ニ事故ヲ作爲シ又ハ詐術ヲ構ヘ造石稅ノ免除ヲ得又ハ得ムトシタルトキハ其ノ石稅數ノ造石稅三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス

第二十六條 納稅保證トシテ保存ノ義務ヲ有スル酒類ヲ他人ニ讓渡シタル者滯納處分ヲ受ケルモ仍舊稅金ヲ完納スルコト能ハサルトキハ其ノ不足造石稅ノ三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處ス

第二十七條 酒類製造用ト否トヲ問ハス其ノ製造シタル酒母又ハ醪ノ検査ヲ受ケサル者ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條 酒類ヲ製造スル者第十七條又ハ第十八條ノ禁令ヲ犯シタルトキハ五十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 酒類ヲ製造スル者酒類ノ製造出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處シ帳簿ノ記載ヲ怠リタル者ハ五圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第三十條 酒類ヲ製造スル者收稅官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第三十一條 此ノ稅法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不問罪及減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用井ス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 酒類ヲ製造スル者ノ代理人家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ此ノ稅法ヲ犯シタルトキハ製造主ハ自己ノ指揮ニ出サルノ故ヲ以テ此ノ稅法ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

第三十三條 第二十九條乃至第三十二條ハ酒類ヲ製造セサル者ニシテ酒母又ハ醪ヲ製造スル者ニモ適用ス

第三十四條 酒類ヲ製造シタル者ハ其ノ製造ヲ廢止スルモ造石稅完納前ニアリテハ總テ此ノ稅法ノ規程ニ從フモノトス

第三十五條 府縣及市町村ハ此ノ稅法ニ依リ造石稅ヲ課スル酒類ニ對シ特令アルモノヲ除キ府縣稅若ハ地方稅及市町村稅町村費課スルコトヲ得

附則

第三十六條 神社ニ於テ古例ニ依リ明治十三年以前ヨリ引續酒類ヲ製造スルトキハ一年ノ製造石稅數一石以下ノ場合ニ限リ總テ無稅トス

第三十七條 此ノ稅法ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス但シ明治十三年布告第四十號同年布告第四十一號同十六年布告第四十二號及同二十二年法律第二十四號ハ此ノ稅法施行ノ日ヨリ廢止ス

明治二十九年九月三十日前検査濟石稅數ニ係ル造石稅ニ關シテハ仍明治十三年布告第四十號ニ依ル

第三十八條 沖繩縣東京府管下小笠原島伊豆七島ニハ當分此ノ稅法ヲ施行セス

（國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル）

○國務大臣（子爵渡邊國武君） 唯今讀ニ付セラレマシタ酒造稅法案及之ト相關聯致シテ居リマスル各種ノ法案ハ全ク此戰後ニ於ケル經營ノ必要ノタメニ

歳入ヲ増加スルニ附イテ一般經濟ノ發達ニ成ルベク害ナキモノヲ選シダ中ノ一ツデアリマシテ詳細ナルコトハ又何レ委員ノ審査ニモ付セラレコトデアリマセウカラ其際申述ベマセウガ十分ナル審議ヲ盡サレテ御議決ニナランコトヲ切望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發議ハゴザイマセヌカ

○水之江浩君 一寸政府委員ニ伺ヒマス、本案ノ稅率ニ就キマシテ御尋致シマス戰後ノ經營トシテ收入ヲ増サナケレバナラヌト云フ譯デアリマセウガ現行稅率ヨリハ七割五分ノ増率ト申スト隨分苛酷ノ増稅デアリマス、之ニ就キマシテハ政府ハ此製造ニ就イテ凡ソ一石ニ附イテ原料ハ何程ヲ要スル、其出來上リタル時ハ何程ニ販賣シテ利益ガ何程アル、ソレ故ニ此位ノ稅率ハ増加シテモ差支ナイト云フヤウナ御見込ガアツテ増稅サレタノデゴザイマスカ、果シテ右様ナ御取調ニデモナツテ居リマスルヤウナコトデアリマスレバ御示ヲ願ヒタイ、ソレガ第一、ソレカラ第二ニハ右申上ゲマシタ通酒造稅ハ實ニ多額ノ増稅デアリマス、斯ノ如ク多額ノ増稅ヲ爲シマスルニ就イテハ將來酒造家ニ向ツテ十分ナル保護ヲ與ヘラル、コト、思ヒマス、然ルニ是マデノ景況ヲ見マスルト酒造家ノ利益ヲ害スルノハ家用料ノ密造杯ガ隨分有リマスヌメニ酒造家ニ影響ヲ及スヤウニ段々見エテ居リマス依ツテ將來是等ノモノヲ禁ゼシテ折角増稅ヲ致シマスル目的ヲ達スルヤウ御考デモアリマセウカ、是ダケヲ御尋申シテ置キタウゴザイマス

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 一寸水之江君ニ伺ヒマスガ第二ノ御尋ハドウ云フ御趣意デゴザイマスカ

○水之江浩君 へー

○政府委員(目賀田種太郎君) 第二ノ御趣意ハドウ云フ御趣意……

○水之江浩君 第二ニ御尋申シマシタノハ酒造稅ガ巨額ノ増稅ニ爲リマシタソレニ附イテ將來ニ向ツテ酒造家ニ十分ノ保護ヲ與ヘラレマスコザイマセウガ是マデノ景況トシテ酒造家ノ敵ト致シマスルモノハ家用料デゴザイマス、此自家用料ニ密造ノ有ルヌメニ餘程酒造家ニ影響ヲ及シマス、此自家用料ニ就イテハ嚴重ノ御取締デモ出來マスノデゴザイマセウカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 第一ヨリ御答致シマスル、勿論酒造稅ノ事ハ間接稅ノ事デゴザイマシテ酒造者自ラハ之ヲ負擔スル譯デアゴザイマセヌケレドモ併ナガラ委細ニ其使用致シマスル原料其他ノ事ヲ調査致シテ居リマスル、而シテ此増稅ヲ負擔致シマシタ所ガ尙ホ相當ノ利益アルモノト見認メテ居リマスカラ其利益ノ程度ハ勿論今日ノ所デハ各地ニ涉ツテ多少ノ差異ガゴザリマスカラ一概ニ之ヲ申上ゲマスルコトハ蓋シ容易ノ事デゴザリマセヌ、併ナガラ之ヲ概言シテ申上ゲマスレバ凡ソ一割二分内外ノ利益アルモノト見認メテ居リマスル、第二ノ御尋ニ附キマシテハ此度既ニ自家用料ノ方ニ於キマシテモソレノ制限ヲ設ケテアルコトハ御覽ノ通デゴザリマ

ス、而シテ之ガ執行上ノ事ニ渡リマシテハ殊ニ爲ニ要スル所ノ徵收費ヲ請求致シマシテ十分ナル取締ヲ設ケル積デゴザリマスル、其概略ヲ申上ゲマスルト云フト凡ソ一收稅署ニ於キマシテ平均二人ノ増員ヲ以テ之ヲ充ツルノ計算ヲ立テマシテ、ソレヨリシテ寬嚴宜シキヲ得テ十分ナル取締ヲ立テマスル目的デゴザリマスル

○水之江浩君 尙ホ御尋申シマス、本案ニ就イテ見マスレバ……製造者ノ規定ハ無イヤウデアリマス

○政府委員(目賀田種太郎君) 麴ノコトハ構ヒマセヌ

○水之江浩君 一寸重ネテ御尋申シマス、隨分麴ヲ買入レマシテ密造等ヲシマスルニ附キマシテ麴屋ノ方ヲ調査スルコトガ出來ナイヤウナコトヲ私ハ今日聞イテ居リマス、其邊ハ如何デゴザイマス

○政府委員(目賀田種太郎君) 麴ノコトハ害ナイト見認メテ居リマス

○水之江浩君 ソレデハ宜シウゴザイマス、此五條デゴザイマス、衆議院ノ修正デハ「新ニ清酒製造ノ免許ヲ受クル者ハ造石高百石以上ニ非サレハ許可セストアリマスガ此外白酒、味淋、濁酒、燒酎、是ニハ制限ガゴザイマセヌガドウ云フコトデゴザイマセウカ

○政府委員(目賀田種太郎君) ソレハ衆議院ノ修正ニ係ルコトデゴザリマスルカラシテ本官ヨリ辯シマスルノモ如何デゴザリマスルガ蓋シ清酒ニ於テノミハ殊更ニ其制限ノ必要ヲ見認メ他ノ場合ニ於キマシテハ事柄モ限リアルコトデゴザリマス、又清酒ノ如ク大キナ事デゴザリマセヌカラシテ皆何レモ小サイ造石デゴザリマスルカラシテ爲ニ制限ヲ設ケナイノデアラウト信ジテ居リマス

○水之江浩君 尙ホ御尋申シマス、清酒製造ノ免許ヲ受ケマスル者ハ百石ト限ツテ居リマス、是ハ翌年ト爲ツテカラ百石以下ト爲ツテモ差支ナイノデアリマスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) ソレハ矢張百石ト云フコトヲ標準トスル積デアラウト存ジテ居リマス、併ナガラソレハ固ヨリ唯今申上ゲマスル通衆議院ノ修正ニ係ルノデアリマスルカラ……

○水之江浩君 成程衆議院ノ修正ニ係ツテ居リマスガ現行法ハ百石デアツマヤウデゴザイマス

○政府委員(目賀田種太郎君) 左様デゴザイマス、ソレハ舊法以來引續イテ居リマス、現行法ハ……

○水之江浩君 然ラバ其從來願ツテ免許ヲ得タ者ハ差支アリマセヌカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 左様デゴザイマス

○水之江浩君 此本年願ヒマシタノト明年願ヒマシタノト……

○政府委員(目賀田種太郎君) 是其年々ノ許可デハナイデゴザリマス

○水之江浩君 年々ノドウト云フコトデ……一寸聽落シマシタ……本年願ヒマス、新ニ願ヒマシタノハ明年免許ヲ受ケマスルト云フテモ矢張新奇ニ爲リ

マスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) 左様デゴザイマス

○水之江浩君 然ラバ明治二十九年以後出シタ者モ新ト認メマシテ宜シウゴザイマス

○政府委員(目賀田種太郎君) 此法ノ行ハレマスル以後新ニ造リマスル者ハ新奇ニ爲ル、第五條ハ此法ノ行ハレマスル以後ニ係ル分デゴザイマス……
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○小原重哉君 本案ノ特別委員ハ十五名ト致シ議長ニ於テ選定アラシコトヲ希望致シマス

○林宗右衛門君 小原君ノ説ヲ賛成致シマス、尙ホ少シ申足ラナイコトガアルヤウデスガ、之ニ連關シマス他ノ三案モ此十五名ノ委員ニ付託致シタイト云フ精神ヲ持ツテ賛成致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ツレハマダ議事ニ掛ツテ居リマセヌ、小原君ヨリ委員ノ人數ハ十五名トシ議長ニ於テ選定スルヤウニト云フ動議デゴザイマス、小原君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ自家用酒稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

自家用酒稅法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年三月十一日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

自家用酒稅法

第二條 自家用酒ノ製造免許ハ一家一人ニ限ル其ノ造石數ハ各酒類ヲ合セテ一酒造年度間(其ノ年十月ヨリ翌年九月マデ)二石以下トス但直接國稅ヲ納メサル者及其ノ納額五圓未満ノ者ハ其ノ造石數一石ヲ超ユルコトヲ得ス
第三條 自家用酒ノ製造ヲナス者ニハ毎年度左ノ製造稅ヲ課ス
一 前條但書ニ該當スル者 金二圓
二 直接國稅五圓以上十圓未満ノ者 金三圓
一石迄 金八圓
二石迄 金三圓

第五條 左ニ掲クル者及其ノ家族、同居者、同居ノ雇人ハ自家用酒製造ノ免許ヲ請フコトヲ得ス

一 直接國稅十圓以上ヲ納ムル者

二 酒類製造營業人及酒類販賣人

三 醬油製造營業人及醬油販賣人

四 酒母又ハ醪製造人及酒母販賣人

五 酢製造營業人及酢販賣人

六 料理店、飲食店、旅人宿營業者

自家用酒製造ノ免許ヲ得タル者前各號ノ一ニ該當スルニ至ルトキハ其ノ免許ノ效力ヲ失フモノトス

第十一條 第七條ノ檢査ニ關シテハ酒造稅法第三十條ヲ適用ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○小原重哉君 本案モ前案ノ特別委員ニ併セ託スルコトヲ建議致シマス

○山田卓介君 賛成

○湯地定基君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 前ノ酒造稅法案ト同一ノ委員ニ付託スルト云フ小原君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ混成酒造稅法案政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

混成酒稅法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年三月十一日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

混成酒稅法

第一條 此ノ稅法ニ於テ混成酒ト稱スルハ左ニ掲クルモノヲ謂フ
一 酒精ト他ノ物品ト混和シテ一種ノ飲料酒類トナシタルモノ
二 二種以上ノ飲料酒類ヲ混和シテ一種ノ飲料酒類トナシタルモノ
三 一種又ハ二種以上ノ飲料酒類ト他ノ物品ヲ混和シテ一種ノ飲料酒類トナシタルモノ
四 飲料酒類ニ酒精若ハ燒酎ト水ト混和シタルモノ

第二條 混成酒ヲ製造スル者ニハ其ノ造石數一石ニ付金六圓ノ割合ヲ以テ造石稅ヲ課ス混成酒元用トシテ酒造稅法ニ掲クル酒類ヲ製造スル者ニハ該稅法ノ造石稅ヲ課ス

第三條 第一條第四號ノ混成酒ヲ製造スルモ別種ノ飲料トナラス單ニ酒造稅法ノ酒類ノ造石數ヲ增加スルニ止ルモノハ其ノ增加石數ノミニ課稅ス

第四條 造石稅ノ納期ヲ左ノ二期トス但シ廢業シタル者ハ即納トス

第一期 其ノ年七月一日ヨリ同三十一日限

第二期 翌年一月一日ヨリ同三十一日限

七月一日ヨリ十二月三十一日迄査定酒石數ニ係ル稅額

第五條 混成酒ヲ製造スル者ハ收稅官吏ノ認許ヲ受クルニ非レハ其ノ製造シタル酒類ヲ販賣シ又ハ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第六條 第五條ヲ犯シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 酒造稅法第二條第七條第八條第十一條第十二條第十八條第十九條

第二十二條第一項第二十四條第二十五條第二十八條第二十九條第三十條

第三十一條第三十二條第三十六條ハ混成酒ノ製造ニ適用ス

附則

第八條 此ノ稅法ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

第九條 沖繩縣東京府管下小笠原島伊豆七島ニハ當分此ノ稅法ヲ施行セ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ

○小原重哉君 是モ前同様委員ニ付託致シ……

○山田卓介君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小原君ヨリ前案ト同一ノ委員ニ付託スルト云フ

動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デアリマス、次ニ沖繩縣酒類出港稅則中

改正法律案政府提出衆議院送付第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミヲ朗讀致サセ

マス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デアリマス、次ニ沖繩縣酒類出港稅則中

改正法律案政府提出衆議院送付第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミヲ朗讀致サセ

マス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デアリマス、次ニ沖繩縣酒類出港稅則中

改正法律案政府提出衆議院送付第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミヲ朗讀致サセ

マス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デアリマス、次ニ沖繩縣酒類出港稅則中

改正法律案政府提出衆議院送付第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミヲ朗讀致サセ

マス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半數デアリマス、次ニ沖繩縣酒類出港稅則中

改正法律案政府提出衆議院送付第一讀會ヲ開キマス通牒文ノミヲ朗讀致サセ

マス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十一年勅令第十二號沖繩縣酒類出港稅則中左ノ通改正ス

第一條 沖繩縣ニ於テ製造シテ他ノ地方ニ輸出スル酒類ニハ出港稅ヲ課ス

其ノ酒類及稅率左ノ如シ

第一種 清酒 白濁 一石ニ付 金六圓

第二種 清酒 白濁 一石ニ付 金五圓

第三種 清酒 白濁 一石ニ付 金七圓

附則

此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ

○小原重哉君 是レ亦前委員ニ付託スルコトヲ希望致シマス

○山田卓介君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小原君ハ前委員ニ付託スルト云フノ動議デゴザ

イマス、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ明治二十九年勅令第六十

一號稅率改正法律案第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ前委員ニ付託スルト云フ小原君ノ動議賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ輸入棉花海關稅免除法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(河田書記官朗讀)

輸入棉花海關稅免除法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年三月十一日

衆議院議長楠木正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
輸入棉花海關稅免除法律案

外國ヨリ輸入スル棉花ハ明治二十九年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除ス

(國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 唯今一讀會ニ付セラレマシタ棉花輸入海關稅免除ニ關スル法律案ハ内地ニ於テ追々紡績ノ事業ガ盛ニ爲リマシタ又綿絲若ハ綿布輸入ノ販路モ追々廣マツテ參リマシタカラ棉花ノ價ヲ低廉ニシテ内地ノ業ヲ進ムルノ必要ヲ認メ提出致シタノデアリマス、十分御審査ノ上通過セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵堤功長君 本案ノ委員ハ九名トシテ議長ニ於テ選定アラントヲ望ミマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○山田卓介君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案特別委員ハ議長ニ於テ選定スルヤウニト云フ堤子爵ノ動議デゴザイマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ事業公債條例案、政府提出衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(河田書記官朗讀)

事業公債條例案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年三月十三日

衆議院議長楠木正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

事業公債條例

第一條 事業公債ハ既設官線鐵道改良、北海道鐵道建設製鋼事業、電話擴張ノ費途、葉煙草專賣資金及國防事業ノ費用ニ充ツルカ爲メ證書額面壹億參千五百萬圓ヲ限リ漸次之ヲ募集ス

第二條 本公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五以下トシ募集ノ都度大藏大臣之ヲ定ム

第三條 本公債ニ關シ本條例ニ規定セサルモノハ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ノ各條項ヲ適用ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵伏原宣足君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ選定アラントヲ希望致シマス

○角田林兵衛君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 伏原子爵ヨリ本案特別委員ハ議長ニ於テ選定ニナルヤウニト云フ動議デゴザイマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、是ニ於テ一應御相談ヲ致ス事ガゴザイマス、ソレハ外ノコトデモゴザイマセマゴ過日鐵道敷設法中改正法律案ガ議事日程ニ載ツテ居リマシタル所政府案ノ鐵道敷設法中改正法律案ハ衆議院ノ議シツ、アル場合デアリマシタカラ其日ノ議事日程ハ削除シタ方ガ宜シカラウト云フ動議ガ成立チマシテ削除ニ爲リマシタ、是ハ言換ヘテ見マスレバ其日ノ議事日程ヨリ削除シマシタノデゴザイマスカラ即チ延期シタモノト存ズルノデゴザイマス、依ッテ今日デハ最早政府提出ノ鐵道敷設法中改正法律案モ片付キマシタノデ最早載セテモ差支ナイト存ズルノデアリマス、別ニ御異議ナケレバ其事ニ致シマスガ一應御相談ヲ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○子爵曾我祐準君 確メテ置キタウゴザイマスガ、如何ニモ過日議事日程ニ載リマシタノヲ削除シマシタ其ノ時ノ議ト云フモノハ今議長ノ仰セラル、通全ク同一事項ノ案ガ衆議院ニアル故ニ貴族院規則ニ依ッテ削除スベキモノト云フ決議ニ爲リマシタ、然ルニアノ削除シタ案其物ガ果シテ議スベキ事デアルヤ議スベカラザル事デアルヤト云フコトハ今一ノ疑問デアラウト思ヒマス、過日ノ案ハ全ク貴族院規則ニ依ッテ削除ニ爲タノデアアルガ全體アノ案ト云フモノハ先キニ政府カラモ同一事項ガ出テソレハ協議會マデモ經テ色々手

順ヲ經タコトハ分リ切ツタ話デアリマスガ此衆議院送付ノ案ヲ議スベキ
ヤ否ヤト云フコトハ明ニ一ノ問題デアラウト思ヒマス、其問題ヲ議スベキヤ
否ヤト云フコトハ極メルノモ是モ矢張議事ヲヤツテ見ネバ分ラヌ答デアリマ
スカラ免モ角モ議事日程ハ御載セニナリマシテ議事日程ニ載レバ必ズ委員ヲ
置クコトニナリマス、委員ガ更ニ之ヲ評議シテ議スベキヤ議スベカラザルヤ
合法ノモノデアアルヤ不合法ノモノデアアルヤト云フコトハ其際ニ極マラウト思
ヒマスカラ免モ角モ議事日程ニ御載セニナルガ手順デアラウト本員ハ考ヘマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ツレカラモウ一ツ別ニ御相談ヲ致シタイ事ガゴ
ザイマス、ツレハ最早會期モ僅々數日ニ出デマセヌデゴザイマス、依ッテ此議
案モ隨分澤山逐ッ驅ケ逐ッ驅ケ衆議院ヨリ廻ッテ來ルヤウナ次第デゴザイマス、
此規則ニ依リマス議案ヲ配布シテ二日ヲ置イテモアリマセヌケレバ議事日
程ニ載セヌコトニナツテ居リマスガサウ云フ次第デゴザイマスカラ二日ヲ
經マセヌデモ配布致シテ諸君ニ於テ御一覽ノ暇ガアラウト存ジマスレバ本席
ニ於テ適宜ニ二日ヲ置キマセヌデモ議事日程ニ載セルト云フコトハ是ヨリ會
期ノ終リマデノ所ハサウ云フ適宜法ヲ議長ニ御一任ニナルコトヲ希望致シ
マス、別ニ御異議ナケレバ共事ニ致シタイと思ヒマス
(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○關田可通君 今ノ御計ヒハ本期ニ限ル譯デゴザイマスガ
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 勿論、本期ノ事デゴザイマス、次ノ期ノ事ハ今
日ハ申シマセヌ、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス書記官長ヲシテ朗讀致
サセマス

(中根書記官長朗讀)

午前十時開議

- 第一 營業稅法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會ノ續(特別委員報告)
- 第二 會計檢査法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四 會計檢査官退官ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第六 會計檢査官懲戒法案(政府提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第八 河川法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十 裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 大阪府下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十四 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

- 第十六 埼玉縣下國界變更及郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十八 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十二 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十四 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十六 福島縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第二十八 巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第二十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三十 富山縣下郡分劃及廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三十二 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三十四 島根縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三十六 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三十八 鹿兒島縣下國界並郡界變更及郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第三十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四十 岡山縣兵庫縣境界變更並福岡縣大分縣境界變更法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四十二 奈良縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四十四 三重縣下郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四十六 滋賀縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第四十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四十八 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第四十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日ハ散會
午前十一時四十一分散會